

MRI検査を受ける方へ【同意書】

2024年9月改訂版

※ 2022年度から基準を変更しています

MRI検査は磁石と電磁波を使用した検査です。

金属留置がある場合、磁石と金属が反応し、①破損・故障、火傷や変色の危険性 ②画像の乱れの可能性があります。

下記をお読みにになり、**該当する場合は必ず事前の確認**をお願いします。

なお、主治医の許可がある場合も含め、安全が確認出来ない場合には、当施設の判断により**検査を中止・変更する場合がございます**のでご了承ください。

1、MRI検査を受けられない方

電子機器のある方

- ・心臓ペースメーカー・除細動器
- ・埋め込み型心電図モニター
- ・髄液調整シャント
(V-P、L-P、V-Aシャント)
- ・人工内耳
- ・神経刺激装置
- ・カプセル内視鏡
- ・その他の電子機器

金属類がある方

- ・磁気式インプラント
- ・マグネットネイル・ネイルストーン
- ・美容整形による金属の糸
- ・脳動脈瘤クリップ・CVポート・義眼
(術後筑波メディカルセンター病院でMRI経験がある方を除く)
- ・乳房エキスパンダー
- ・避妊具等の子宮内器具
- ・磁石式人工肛門

妊娠中・またはその可能性がある方

増毛パウダー・着色剤、外せないかつら

金属研磨の職業等、手術以外で体内に金属が入った経験がある方 または付着している方

検査装置に入れない体格の方 (横幅55cm×高さ45cm)

昭和63年以前に金属を留置するような治療をした、または治療時期が不明な方

2、MRI検査を受けられない可能性がある方

過去に「手術」や「内視鏡治療」、「放射線・陽子線治療」を受けたことがある方

体内・体外に人工物を留置した方

→上記の方は、治療をした病院、主治医に以下の2点を必ずご確認ください。

①金属を体内・体外に留置しているか

治療後に筑波メディカルセンター病院、当健診センターでMRIの経験がある方は確認不要です。

②留置している場合、MRI検査は可能か

※他施設でMRIを実施された場合は、事前に主治医への確認が必要です。

3、MRI検査前に外していただくもの

万一持ち込んだ場合の破損・故障・火傷等は責任を負いかねます

〈破損・故障の危険があります〉

- ・時計
- ・携帯電話
- ・補聴器
- ・眼鏡
- ・磁気カード
(診察券、キャッシュカード等)
- ・インスリンポンプ
- ・持続グルコース測定器

〈火傷や変色の危険があります〉

- ・指輪、ピアス
- ・入れ歯
- ・ネックレス
- ・カイロ
- ・イヤリング
- ・貼り薬
- ・ヘアピン
- ・湿布
- ・かつら、ウィッグ
- ・エレキバン
- ・マスカラ、アイシャドウ、ラメ入り化粧、ジェルネイル(薄めの化粧でお越し下さい)
- ・カラーコンタクトレンズ(保存液や容器をご準備ください)
- ・金属付き下着
- ・ヒートテックインナー
- ・遠赤外線の肌着
- ・刺青、アートメイク
- ・エクステ(まつ毛、髪)

ご不明な点がある際や病院・主治医に確認が取れない場合は健診センターまでご連絡ください。

TEL 029-856-3500